

東亜電波工業株式会社

溶存酸素指示計用計測ソフト  
取り扱い説明書

株式会社 松栄電子研究所

〒470-1101 愛知県豊明市沓掛町一長田26番145

TEL.0562-91-3511(代表) FAX.0562-91-3512

## 1, 起 動

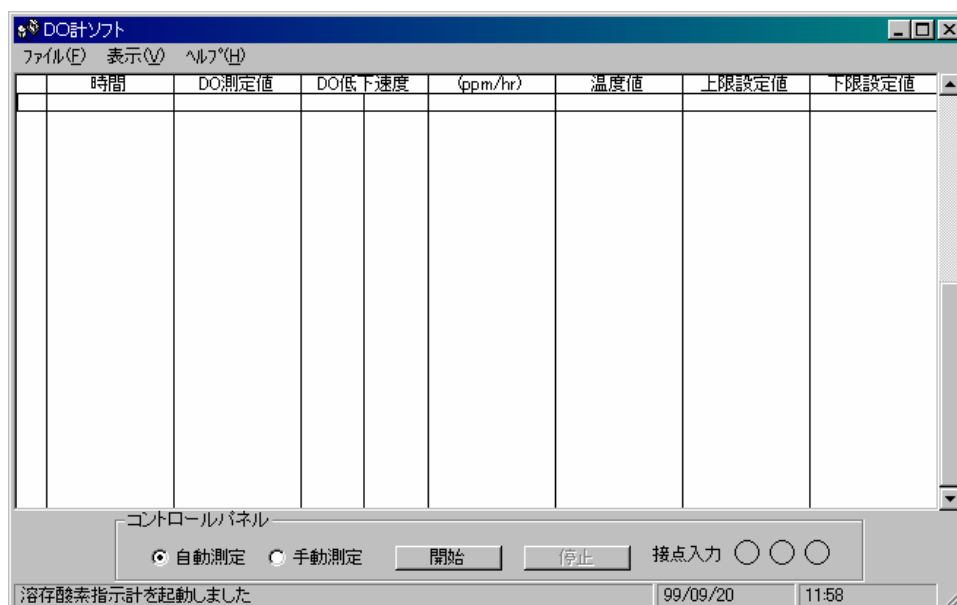
周辺機器を正しく接続した後、デスクトップ上の“溶存酸素指示”と書かれたアイコンをクリックして下さい。



しばらくしますと、起動画面が表示されソフトが起動します。



起動画面

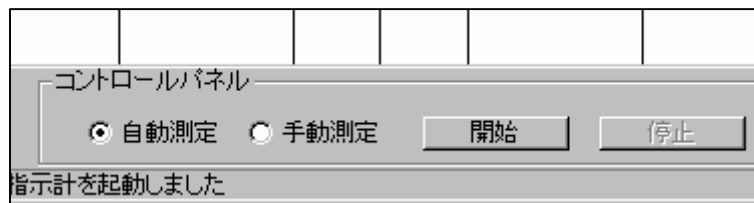


メイン画面

## 1、計測

### ○設定

最初に、計測の種類を設定します。



計測の種類

画面下部のコントロールパネル内の、“自動測定”もしくは、“手動測定”をクリックして下さい。

自動測定の場合は、10秒周期で15分間測定を行います。

手動測定の場合は、10秒周期で最大20分間測定を行います。

### ○計測開始

計測の種類を設定しましたら、“開始”ボタンをクリックして、計測をスタートします。



測定開始

以降計測が終了するまで、10秒周期で計測を実行し画面上に計測データを表示します。

### ○計測の中断

計測中に計測を中断する場合は、開始ボタンの隣にある“停止”ボタンをクリックします。

停止ボタンがクリックされると、計測が中断されますが、その時点までのデータは保存されます。

### ○接点入力

外部から、接点入力が発生するとコントロールパネル内のランプが点灯し、時刻データの頭に“\*”が付加されます。ただし、“\*”は、接点入力が発生した直後のデータに付加されます。接点入力が付加された時刻をもとに、“DO低下速度”などの計

算を実行します。



接点入力時ランプ点灯

### ○接点入力の接続方法

添付しています 37 ピンのコネクタの 9 番及び 10 番に接点信号を入力して下さい。

	時間	DO測定値	DO低下速度	(p)
46	*13:35:39	1.65	n4	0.12
45	13:35:38	1.69		
44	13:35:37	1.72		
43	13:35:36	1.77	n3	0.09
42	13:35:35	1.79		
41	13:35:34	1.82		
40	13:35:33	1.86	n2	0.13
39	13:35:32	1.92		
38	13:35:31	1.95		
37	13:35:30	1.99	n1	0.15
36	13:35:29	2.03		
35	13:35:28	2.08		
34	13:35:27	2.14		
33	13:35:26	2.16		
32	13:35:25	2.22		
31	13:35:24	2.26		
30	13:35:23	2.28		
29	13:35:22	2.31		
28	13:35:21	2.35		
27	13:35:20	2.39		
26	13:35:19	2.44		
25	*13:35:18	2.47		
24	13:35:17	2.50		
23	13:35:16	2.56		

接点入力

## 2、計測の終了とデータの保存

### ○計測終了

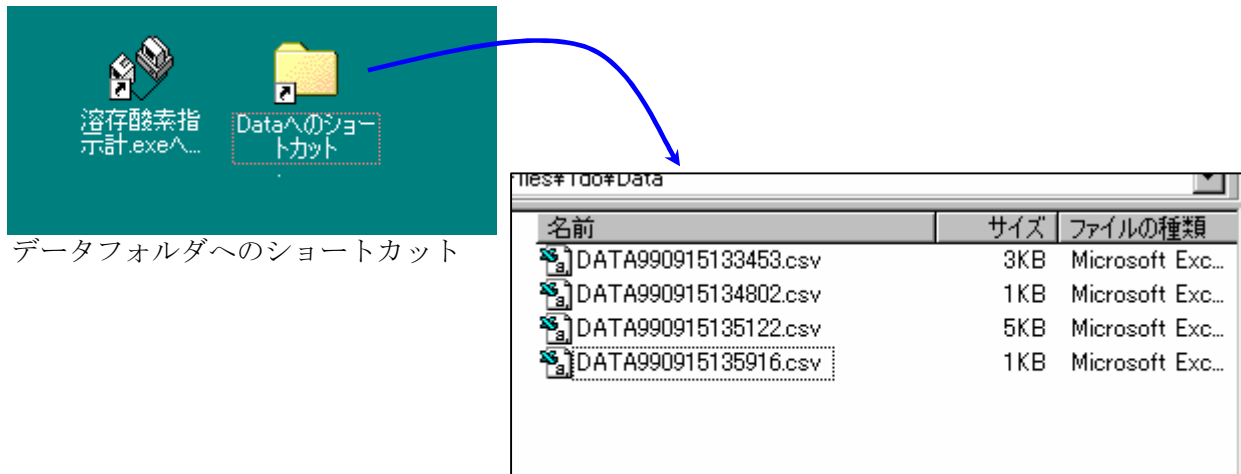
計測が終了すると、“開始”ボタンが無効に“停止”ボタンが有効になり、“平均温度”及び、1回目と2回目の低下速度の比“倍率”が表示され、測定データが保存されます。



倍率、平均温度

### ○データの保存

測定されたデータは、測定開始時刻を元に決められたファイル名で保存されます。デスクトップ上の“Dataへのショートカット”アイコンをクリックすると、データが保存されているフォルダが開きます。



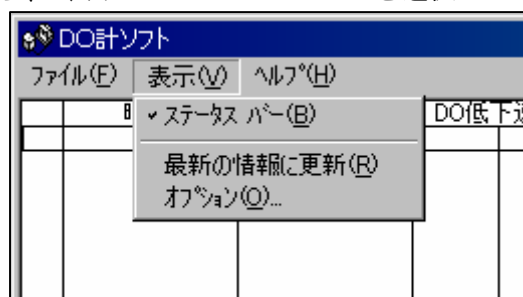
データ保存フォルダ

1999年9月15日13時51分22秒に計測が開始されたデータは、ファイル名“DATA990915135122.csv”という名前で保存されます。

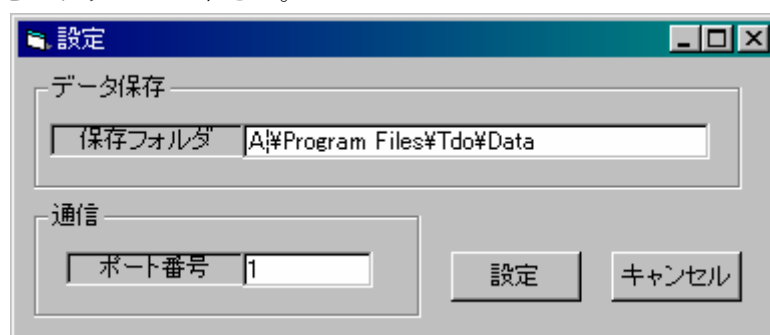
### ○保存フォルダの変更

データファイルは、初期状態では用意されたフォルダ“A:¥Program Files¥Tdo¥Data”に保存されますが、データの保存フォルダは次の手順で変更が可能です。

メニューバーから、“表示” → “オプション” を選択して下さい。



オプション設定ダイアログが表示されますので、保存フォルダを設定し、“設定” ボタンをクリックして下さい。



ただし、測定中はオプションの設定は受け付けませんので、ご注意願います。